

事業所名

がじゅまるの家

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

5日

法人（事業所）理念	すべての家族に安心と居場所を		
支援方針	医療的なケアの必要な子供たちに安心できる居場所を作ります。 リハビリやお出かけ、新しい体験を通して子供たちと一瞬一瞬の喜びを共有し、明るく笑顔あふれる毎日を。ムーブメント療育を取り入れ、体を動かし、五感で色々な情報をキャッチすることで、「できる」を増やしていきます。親御様と日常で困っていることを共有し、日々の活動に活かします。		
営業時間	9時00分から	17時00分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	○健康状態の改善:車内での検温、バイタルチェック、全身状態や呼吸状態の観察を行う。また、療育中にも観察を行い健康状態・心身の状態の変化の把握に努める。 ○作業療法士、理学療法士による訓練の実施 ○子供たちがリラックスして通所できる、心地よい空間作りを行う。	
	運動・感覚	○五感を刺激する「ムーブメント療法」を取り入れ、心と身体の成長を促す。 ○好きな遊びや音楽を声かけを通して覚醒を促したり、リラックスする時間を作り、1日のリズムを整えていく。 ○マッサージを行い排痰を促し、リラックスして過ごせるようにしていく。	
	認知・行動	○呼吸器をつけている児童は体調に合わせて呼吸器の着脱を判断し、楽しめるよう支援する。 ○活動の前には活動に関する絵本を読む・声かけをするなどして興味・関心を持てるよう支援する。 ○お集まりの歌とご挨拶、帰りのご挨拶と歌を毎日同じ流れにすることで、ルーティン化させ、イメージを持って見通しが作れるよう支援していく。	
	言語 コミュニケーション	○口の動きや表情をよく観察し、児童の思いを汲み取っていく。児童に質問や選択する場面を作り、意思表示を引き出していく。 ○表情で自分の気持ちを表現できるよう支援し、気持ちに対する声かけを行うことで、自己表現につなげていく。	
	人間関係 社会性	○マッサージやタッチングで児童との触れ合いを行い、信頼関係が作れるよう支援していく。 ○輪になって行う療育やご挨拶を取り入れ、お友達と目を合わせ意識できるよう支援していく。	
家族支援	○連絡帳アプリ・送迎時のお話や関わりを通して親御さまのご不安や心配なことへの聞き取りを行いお声かけを行う。	移行支援	○親御様や関係機関・移行先への情報提供 ○就学に向けての各機関との連携を行う。
地域支援・地域連携	○地域との交流や親御様との連携で安心できる環境作りを行う。	職員の質の向上	○毎日の朝礼と終礼で支援内容についての共有・振り返りを行う。 ○各研修の参加○定期的なMTや勉強会の実施
主な行事等	お散歩・ひな祭り行事・他事業所との合同イベント・避難訓練・プール遊び・七夕会・節分行事・クリスマス会・お別れ会・お誕生日会		